特集

大学・公設研における最新の金型技術開発

特集企画趣旨

ものづくりにおけるハードウェアで重要な3要素がある。それは「材料」、「機械」、「工具」である。素材に形を付与して工業製品（部品）を製作するのが素形材である。成形加工を例にすれば、材料（鋼板やプラスチックなど）、機械（プレス機、射出成形機など）、形状を付与する工具に位置づけられる金型である。

公益財団法人金型技術振興財団では、金型技術及び金型を利用する成形技術等の研究開発活動に対する助成事業等を通して金型技術等の向上を図り、工業社会及び産業経済の健全な発展に寄与している。

今回の特集では、当該財団から令和5年、令和6年度に助成された研究の中から成果報告会で発表があった、主に大学や公設研によって遂行された最近の金型技術の開発をピックアップして詳解する。

金型技術の開発と高度化は、我が国の素形材産業の発展にとって非常に重要であり、未来永劫継続されるべきである。

是非、本特集を通して有益な情報を得て、最新の金型技術が素形材産業に有用な技術であることを再認識していただき、分野を横断した素形材づくりに役立てていただきたい。

編集委員　安齋　正博

11月号 企画趣旨.indd　1　2025/11/11　16:45:07